

# 大熊町を 端から端まで 知りつくそう!

# ふるさと 再発見

## 旧地名を訪ねて

### ●第5回 熊地区 (〒979-1305)



この地域は常磐線を  
はさんで東と西に位置  
し、熊町には初発神社、  
館には羽山神社、熊に  
は若木神社があり、静  
かな田園に囲まれてい  
ます。近年熊地区には  
新興住宅が林立して、  
果樹の梨の花と瓦の色  
が競い合っています。

(6月30日現在)

人口	男	女	小計
旭台	471人	504人	975人
熊町	190人	189人	379人
新町	600人	597人	1,197人
館	15人	29人	44人
錦台	56人	56人	112人
滑津	90人	78人	168人
合計	1,422人	1,453人	2,875人

【熊地区新旧字名一覧表】

新	旭台	熊	町	新町	館	錦	台	滑津	
	上中ノ内の一部	地極沢の一部	大字熊川字大	沢	唐沢の一部	地極沢の一部	大	平	佐山沢の一部
	落合	内城	〃	船沢	佐山沢の一部	兎内	上中ノ内の一部	〃	佐山の一部
	唐沢の一部	山王の一部	〃	高芝	佐山の一部	小屋脇の一部	北松下	〃	下中ノ内の一部
	下中ノ内の一部	佐山沢の一部	〃	蔵平	紫蔵沢の一部	山王の一部	熊	関	清水の一部
	紫蔵沢の一部	境田	〃	尾塚前		静岡	後川原	〃	紫蔵沢の一部
		佐山の一部	〃	町		反町の一部	常光沢	〃	堂ノ前
		太夫沢	〃	町後		武道池の一部	地極沢の一部	〃	行津
旧		塚草	〃	大塚平			根	〃	柄行津川原
		花輪	〃	高柴			羽山	〃	本町の一部
		三ノ輪	〃	下平			武道	〃	
		南沢	〃	近左エ門下			武松	〃	
		本町の一部	〃	大信田			持	〃	夫
		大字熊川字境	〃	岩下			岩	〃	樋
		〃	〃	鍛冶屋川原の一部			南	〃	岩樋
		〃	〃	関下の一部					

# 羽山神社周辺

羽山神社は最近、新たに整備されて、石の鳥居が農道から見えるようになりました。石の鳥居をくぐりさらに奥には木の鳥居があり、右から東堂山神社、足尾神社、十九夜様と並び足尾神社右手を登ると左右には石碑群があり、その奥には羽山神社の社がひっそりと建っています。東堂山神社の右手前には平成元年に牛頭観音の石碑が建てられており、昔の馬頭観音と同様に牛を祀っています。



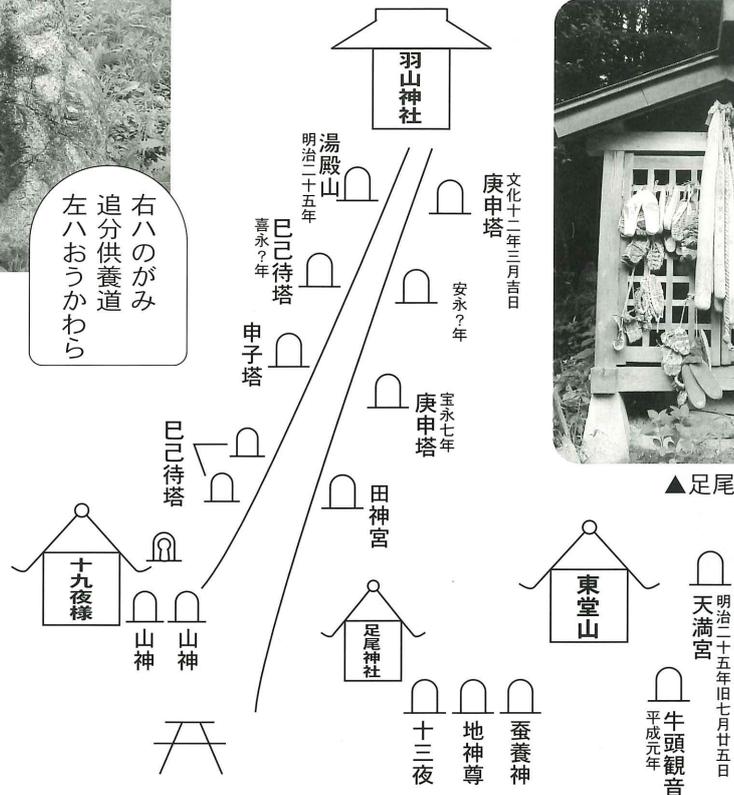
▶羽山神社



▶道はたの追分石  
(前ページ●印に有り)

右ハのがみ  
追分供養道  
左ハおうかわら

## 羽山神社境内見取図



▲足尾神社



▲十九夜様

# はなどり地蔵(民話)

むかし、熊町地区が熊川宿と呼ばれ、大変にぎわっていた頃の話です。この近くに働き者で子供のない老夫婦が住んでいた。田植えも間近のある日、爺さんはマンガを押し、婆さんはハナドリをしていた。そんな時、婆さんが腹痛をおこし、家に戻ってしまった。残された爺さん、しばらく田んぼの土手に立っていると、どこからやって来たのか、八歳くらいの男の子が「爺ちゃん、おらあ手伝うべえ」と言つて、竿をつかんだ。すると、馬も元気を出し、代かきは大変はかどったんだと。遠くからする婆さんの声を聞いた男の子はハナドリを止め、地蔵の森の方へと足早に行つてしまった。「婆っば、今男の童みねがったが」「何もみねえ。あれ、誰ハナドリしたんだよ」「どっかの男童が来てなあ、手伝うつて言つたんだあ」婆さんは、後を追うように地蔵の森まで行つてみた。しかし、誰もいない。ふと、お堂の中を覗いて見ると、片膝を立てて座つて居るお地蔵様の膝から下は泥まみれになっていた。

土地の人は、この地蔵を「はなどり地蔵」その田を「地蔵仏供」と呼んで、秋の実りを供えるようになったんだと。(立て看板より)



▲はなどり地蔵